

第1次経営計画 経営目標と実績値(令和5(2023)年度末)

	基準値 令和4(2022)年度末 (A)	令和5(2023)年度末 (B)	基準値に対する 達成状況 (B/A)	目標値に対する 達成状況 (B/C)	目標値 令和9(2027)年度末 (C)
小平市民文化会館(ルネこだいら)の年間入場者数	185,000人	229,254人	124%	85%	270,000人以上
小平ふるさと村の年間入園者数	63,000人	61,636人	98%	98%	63,000人以上
小平市民文化会館(ルネこだいら)の自主事業における来場者数の満足度	4.8点	4.8点	100%	100%	4.8点以上
小平ふるさと村の自主事業における来場者数の満足度	4.5点	4.7点	104%	104%	4.5点以上
小平市民文化会館(ルネこだいら)の施設利用率	79%	80%	101%	96%	83%以上

<達成状況に対する考察>

第1次経営計画の初年度となる令和5年度は、基準値であるコロナ禍の影響が残っていた令和4年度と比較すると、全体として概ね良好な達成状況を示していますが、第1次経営計画が目指す最終年度の令和9年度末の目標値との比較では、主に小平市民文化会館(ルネこだいら)の年間入場者数において、課題が見られる結果になりました。これは、小平市民文化会館(ルネこだいら)の施設利用率は比較的高い数値であるものの、1回の施設利用に対する利用者数が、未だコロナ禍が後を引き、活動を休止した団体などコロナ禍前の水準に回復することの難しさを表しているものと考えています。一方で、コロナ禍を契機に、新たに小平市民文化会館(ルネこだいら)の利用を始めたお客様や、催し物の準備段階から長めにホールを借りて本番を迎える貸館利用者など、お客様の利用状況も少しずつ変化をしています。

また、コロナ禍であっても文化芸術の活動が継続できるよう、インターネットを活用したりリモート会議の開催や、本番の舞台芸術の動画配信技術が急速に普及し、徐々に文化芸術の活動状況が直接施設の利用者数等に反映しにくい状況も発生しています。

必ずしも文化芸術の活動成果を入場者や入園者の数だけで測るものではありませんが、今後も小平市民文化会館(ルネこだいら)の大ホールや中ホールといった集客人数の多いホール系施設を中心に、1年を通してお客様が楽しく舞台芸術に触れることができる環境づくりを継続して整えていくことが必要と考えられます。